

臨時レポート

# FOMC(米連邦公開市場委員会)5月会合では現状維持

## 想定どおり金融政策の現状維持を決定

- 声明文では、物価の現状について「2%近辺で推移する」と上方修正されたものの、利上げペースの加速については示されず。
- 仕入価格上昇などによるインフレ圧力が高まる中、まずは次回6月会合で利上げか。

### <市場の予想通り金融政策の現状維持を決定。次回利上げは6月か>

- FOMCは5月1~2日の定例会合で、市場の大方の予想通り政策金利を据え置き1.50~1.75%としました。パウエル議長は声明文においては、経済活動については「緩やかに拡大」と3月の表現を継続しました。前回(3月)の会合で変更された表現が強められた景気見通しは据え置かれました。また、「2%を下回っている」とされていた物価の現状については「2%近辺で推移する」へと上方修正されました。市場では次回(6月)の会合では利上げが行われるとの見方が大勢です。

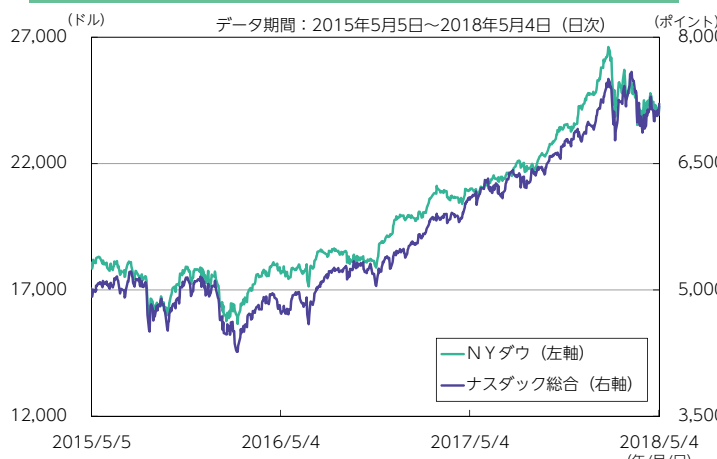
### <物価はFRB政策目標に迫る水準まで上昇>

- 4月30日に発表されたFRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ指標としている食品とエネルギー価格を除いた3月のコア個人消費支出(PCE)物価指数は、前年同月比で+1.9%と前月から+0.3%となり、FRBが目標水準と見なす2%にあとわずかに迫ってきました。4月18日に発表されたベージュブック(米地区連銀経済報告)では「全地区で緩やかに拡大を続けている」と前回3月の景気判断を維持しましたが、物価は緩やかに上昇しているとし、貿易問題による鉄鋼価格などの上昇が報告されました。5月1日に発表された4月の米サプライマネジメント協会(ISM)製造業景況感指数は、市場予想を下回る57.3となりました。鉄鋼等への輸入関税を受けた仕入価格上昇による企業の調達面での懸念が確認されました。2か月連続の低下となりましたが、依然として景気の拡大を示す50を上回る水準が続いています。

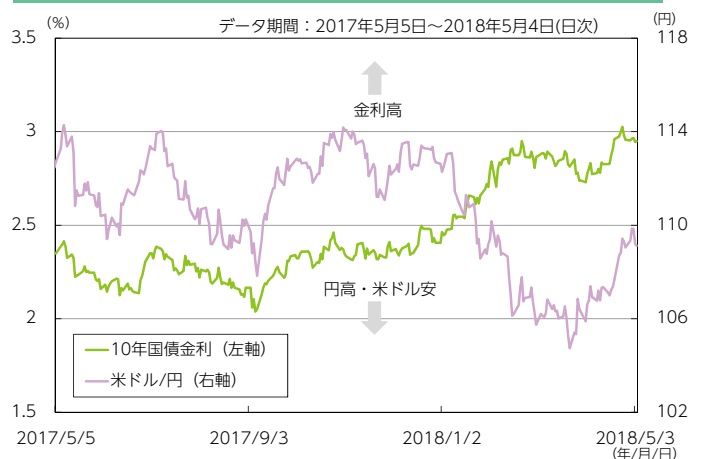
### <様子見との観測が大勢だった5月会合。今年の利上げ回数は増えるのか>

- 北朝鮮問題収束の観測などを受け、リスク回避姿勢の緩和により金利が3%台へ上昇した以降は、低下傾向にあった米国債券市場(5月2日)は、前日とほぼ変わらずとなりました。冴えない展開が続いていた米国株式市場(NYダウ)(5月2日)は、FOMCで利上げペースの加速が示されなかったことなどから一時上昇するも、前日比でマイナスとなりました。対円でドル高傾向が続いていた為替(5月2日)は、前日比でほぼ変わらずとなりました。5月4日に発表された4月の雇用統計では、賃金上昇率が前年同月比で+2.6%と伸び率は鈍化しました。市場では物価の現状の上方修正に利上げ回数の増加を予想する見方も出てきています。原油価格の上昇や金属価格の上昇によるインフレ圧力など利上げを促す環境は整いつつあるものの、米中貿易問題など政治要因や景況感の悪化が一部で確認されつつある世界各国の経済指標など不透明な要因もあることから、FOMCの動向には一層注目が集まるものと思われます。

図表1：米国株式指数の推移



図表2：米国金利・為替の推移



出所) 図表1、図表2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>